田川地区の県立高校再編整備計画（第３次計画）骨子案

資料２

１　田川地区の県立高校再編整備計画（第２次計画）について

○平成31年３月　田川地区の県立高校再編整備計画（第２次計画）を策定

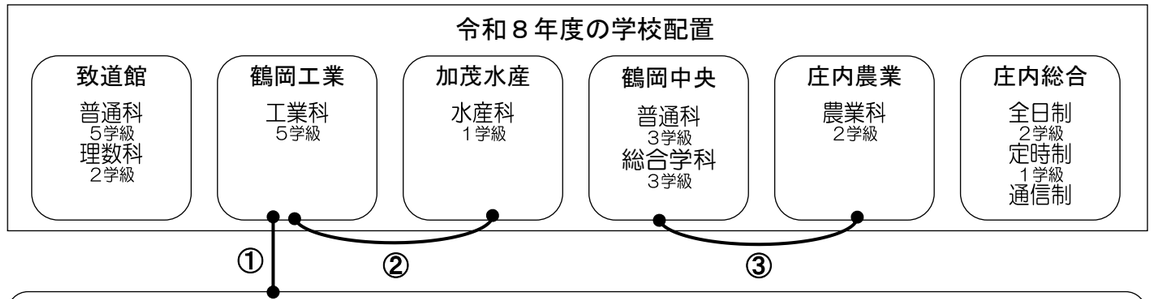
（要点）
- 鶴岡南高校と鶴岡北高校の統合及び庄内中高一貫校（仮称）の設置
- 庄内総合高校への昼間定時制及び通信制の設置
- 鶴岡南高校山添校、鶴岡工業高校定時制、鶴岡南高校通信制の募集停止

（実施済）

- 鶴岡中央高校、加茂水産高校及び庄内農業高校の統合
- 鶴岡工業高校全日制の単科型専門高校としての維持

策定から７年ほどが経過した中で、少子化による影響に加えて地域の経済や社会の変化、さらに政府や県などが進める新たな産業政策の方向性にも対応できる人材の育成と、そのために必要な環境整備が求められている。

２　田川地区の県立高校再編整備（第３次計画）骨子案



①　鶴岡工業高校は現地に新校舎（普通教室棟・実習棟）を整備
（体育館、機械科棟は必要な改修等を行い継続使用）

地域の経済・社会の発展を支える人材を育成するため、庄内地区のものづくりの先導的拠点として、県の「地域産業成長プラン」等との整合も図りながら先端技術や成長分野を見据えた学びを強化する。また、現在の在籍者数、今後の中学校卒業者数の減少、地区内の私立高校及び高等専門学校の工業科の配置状況を踏まえ、４学級（４学科）に再編する。

②　鶴岡工業と加茂水産の連携を強化
従来の工業、水産・海洋関連産業の人材育成に加え、これらの分野を横断した新たな産業を担う人材を育成

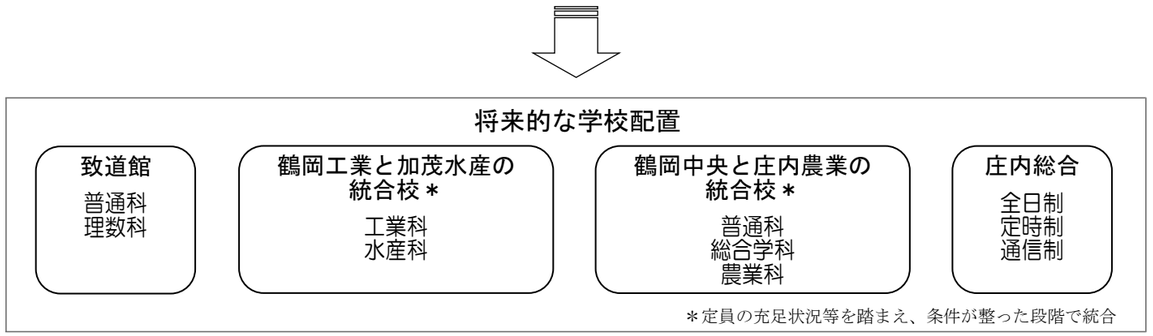
＜学びの特色＞
○工業科：
○水産科：
工業、水産・海洋の各分野のＤＸやイノベーションに関する学びに加え、水産・海洋分野における工業技術の活用に関する学びを実施
○課題研究や専門科目のオンライン授業等による、学校間連携を段階的に実施

※定員の充足状況等を踏まえ、条件が整った段階で鶴岡工業校舎を活用して統合
加茂地区の水産実習施設等は継続利用

③　鶴岡中央と庄内農業の連携を強化
普通科・総合学科の学びに加え、農業科との連携や大学等外部機関とも協力しながら、地域課題の解決に向かう人材を育成

＜学びの特色＞
○普通科：文理横断的な学びを推進し、充実したキャリア教育や探究学習を実施
○総合学科：多様な選択肢を有する各系列分野の機能強化・高度化に加え、農業科と連携した実践的な学びを実施
○農業科：普通科及び総合学科と連携し、多様な進路に対応できる学習の推進
○近隣の大学等外部機関と連携を充実

※定員の充足状況等を踏まえ、条件が整った段階で鶴岡中央校舎を活用して統合
統合後の校舎、実習施設等の整備は今後検討

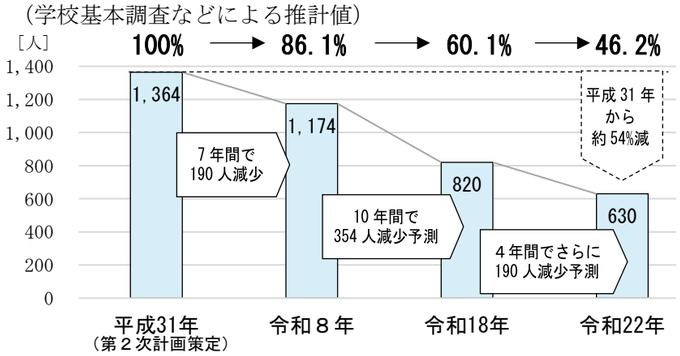


【参考】

○全日制１～３年及び定時制の生徒数
（令和８年度学校要覧より）

高校名	生徒数（人）			
	1年	2年	3年	計
致道館	229	274	261	764
鶴岡工業	167	145	148	460
鶴岡中央	219	223	188	630
加茂水産	19	21	20	60
庄内農業	44	32	36	112
庄内総合(全日制)	41	34	35	110
高校名	1年	2年	3年	4年	計
庄内総合(定時制)	12	2	12	12	38

○田川地区の中学校卒業者数の推移
（学校基本調査などによる推計値）



（例えば「令和８年」は、令和８年３月（令和７年度）の中学校卒業を表す。）

３　今後の進め方

○11月16日　第２回田川地区の県立高校在り方懇談会において意見聴取
○12～１月　産業界、高等教育機関などの関係団体に意見聴取
　　パブリック・コメント、地域説明会の実施
○３月　田川地区の県立高校再編整備計画（第３次計画）策定